

幹線 16 号線整備事業説明会の概要について

- ・日 時：平成 25 年 7 月 18 日（木）19:00~20:30
- ・場 所：台町会館 1 F
- ・出席者：近隣住民 19 名（別添参照）
二榎木都市建設部長・笹山建設課長・二宮副課長・竹内技幹・露木係長・豊田主査・近藤主査・石渡主任技師・大井主任主事・伊藤技師（町職員 10 名）

- ・開 会（二宮副課長）

- ・挨拶（二宮台町区長・二榎木部長）

- ・職員紹介（二宮副課長）

- ・質疑①
住民) 内容に入る前に「説明会」の名称に納得がいかない。12 月 13 日の第 2 回説明会の議事録の中に「自治基本条例に基づいた話し合いは今日からスタートする」と書かれている。それを踏まえると、「第 3 回説明会」と言う名称はおかしいだろう。自治基本条例第 4 条や第 3 章の第 9 条に書かれている「町民は、まちづくりの主体であり、政策の形成、執行及び評価の過程に参画する権利を有します。」の部分を考えてほしい。「説明会」では一方的な意味合いになる。結局町が全て計画して、計画の中身を我々が受けて、我々は計画に対して意見や質疑を言うだけで、説明会終了というのは参画ではない。言葉の使い方を重く受け止めてほしい。16 号線をどのように展開するか我々にも案がある。それに対してプロジェクトを作って、そして議論をしていきたい。そうすれば「第 3 回説明会」ではなくて「第 2 回計画立案プロジェクト」と言う名称になるのではないか。その名称で我々の立場がどうなるのかを理解してほしい。
町) 基本的な考え方として、自治基本条例、協働・参画の精神に基づいて皆様と意見交換をしていきたいと考えている。計画自体の進展や考えは変わっていないので、皆様から色々意見をいただいで今後活かしていきたい。
住民) 今の意見については次回、回答をいただきたい。3 月 15 日に町長・笹山課長宛で出した意見書が 4 ヶ月も経っているにもかかわらず、質問の回答をいただいでいない。改めて、幹線 16 号線整備事業の目的について伺いたい。平成目安箱 No.7 の「雨天候時、送り迎えの車で国道 1 号線が混雑する」と言う意見に対して、町は「交通渋滞緩和のために幹線 16 号線の整備を行っている」と回答していた。なるほどと思ったが、町が交通渋滞緩和のために幹線 16 号線を整備するとは考えられない。12 月 13

日の議事録には「まず一期分の整備工事 200mをやるが、10~20 年の間に整備事業ができるとは思っていない」と書かれていた。このような整備計画で渋滞緩和ができると思っているのか？駅まで開通するのが 10 年先 20 年先で西側に住む人・渋滞に困っている人が納得すると思っているのか？幹線 16 号線整備事業を 200m で止めて 50m 残している目的は何か？その状態で 20 年先まで待つ行政の目的は何か？明らかに渋滞解消のためではないだろう。本当に渋滞を心配するのならシャトルバスを運行して解消すればいいではないか。シャトルバスと工事総額とどっちが税金を使うと思っているのか？

町) 3 月 15 日の書面については意見・要望として受け止めたので、故意に回答しなかったという意図はない。幹線 16 号線は大磯まちづくり基本計画に位置づけられ、認定道路として指定されている。平成 24 年 3 月に第 1 回の説明会を開催した。ゆめのちかみちから東に向かって 200m の範囲で測量調査も行った。現況測量を行った範囲を一期工事として整備し、引き続き小学校裏のガードまで整備していきたいというのが今の目的である。平成 15 年には道路用地を取得している経過もある。

住民) 目的が語られていない。整備の目的を聞きたい。自動車を通す目的は何か？例えば、国道 1 号線の渋滞緩和のためにバイパスを作りたいということが目的ではないのか？何か別の目的があるのなら語っていただきたい。

町) 昭和 29 年の旧大磯町と旧国府町の合併以降、旧大磯町と旧国府町を結ぶ道路を一本作るのが大きな目的となっている。国道 1 号線の渋滞緩和も目的の一つである。町としては小学校のガードまで工事を計画しているが、ひとまずは第一期の範囲を整備していきたいと考えている。また、10~20 年という話が出ているが、整備期間を最大限伸ばしてもそれまでにつくりたいといった意味合いで申し上げたことだと思われる。「説明会」という名称で今回開催したが、町としても「意見交換会」という認識でいる。

住民) 線路沿いの細い道が 6 m に拡張されても、ガードの狭さ・高さがネックだ。解消しない限り車が入ってきて渋滞が発生するだろう。JR とガードの整備について交渉を行っているのか？とりあえず 200m 整備して、道が広がって車が通ります、だけど行き止まりになっているので戻ってください、その旨の標識や信号を設置しますと言っていたが、そんなことで解決できるほど安易ではない。ガードがネックになっているという認識とその対策をきちんと話していただきたい。

町) 以前からガード部分がネックだというお話は伺っている。町としては、200m の整備計画を考えており、ガードまでの計画はまだ出来ていない状態である。まず一期工事を行ってから考えていきたいと思っている。

住民) まず 200m というけれど、ガードのネックが依然として残っている。ガードまで整備を進めて頓挫してしまうのであればムダである。10~20 年先にガードのことが解決できなかったらどうするのか？危ないところを直さないくせして、なぜこんなことにお金をかけるのか？

町) 幹線 16 号線は全体延長 2100m ある。昭和 36 年ごろから区間分けして整備している

が、全部を整備するには時間がかかる。まずは区画を決めて、ゆめのちかみちからの200mを整備していきたい。ある程度計画をもって部分的に行っていきたい。

住民) 部分的に行ったとしても、道路の先が風船の口のようになっているから通り抜けできないだろう。将来、●●さんのところを売ってもらって、道路にする計画があるのか？あそこをやっても、子どもも通るし一歩通行なので、その先通れない。無理やり200m作っても仕方がないだろう。意味がない。JRがガードの工事をしなかったら、結局はそこまでの道になってしまう。ガードをどうするのか先の見通しもないのに時間やお金をかける意味があるのか？こんな馬鹿馬鹿しいことはない。「今後の課題としてガードを考えていく」ではなく、現在どのように考えているのか？

町) 計画は全体的に立てていないが、東小磯1号線にぶつけていく考え方でいる。交通渋滞の事を考えるとガードが狭いということは認識している。今後、意見交換を行いながら道路計画を考えていきたい。現在は200m区間の測量を行って、やっと町の計画案を出した段階である。まず200mやって、それ以降についてはこれから考えていきたい。

住民) 「まずは」と言うが、見通しが立たないままやってよいのか。JRが工事するとは到底思えない。

町) ガードの整備を行うのは町になるが、背が高い車は通行不可や迂回して戻ってもらうような表示をさせてもらう。様々な方法が考えられるが、町の土地がないので周辺住民の皆様の用地の協力がないと進められない事業である。今出来るところまでやらせていただきたい。皆様に示せる計画はこれのみである。

住民) 200mの道路をつくったら、いい道路だと思って車が入ってくるだろうし、みんな譲らないだろう。道路をつくっても意味がない。渋滞のもとだ。絶対に無理だ。

住民) 町職員の役職が変わって他課に異動すれば知らん顔というのはおかしい。昔からゆめのちかみちのカーブ部分にミラーの設置を要望していたが、やっと今になってチャチなミラーを設置した。●●さんの角で誰も一時停止しない、山から降りてくる車とぶつかりそうになる。警察にも相談した。子どもたちが道路の両脇を通るので危ない。白岩神社前の十字路で人身事故が多発している。十字路の角にある大きな家が出っ張っていて道幅が狭くなっていて非常に危ない。そちらの整備が先ではないのか。あっちの整備が駄目だったらこっち、こっちが駄目だったらあっちというやり方では絶対できる訳ない。子どもたちのことも考えてほしい。今でも、大川書店前の道が狭いので子どもたちの通行が危険である。ガード下を歩いているときに車が来ると、傘をさしていたらどかなきゃいけないし、どいても危なく感じる。昔、ガード下に道を通さないで、山を削ってふれあい会館の方へ道を下ろしていくという計画があったが、それも途中で頓挫した。もっと計画を練ってほしい。これは住民から要望した件ではないだろう。

町) 交差点部分の家については継続的に用地交渉している。通学するとき、道路のどちら側を児童が歩くのかというお話が出ていたが、昨年7月か8月に通学路の合同点検を行った。南側に緑色の路側帯を行う予定でいる。現在の状況を改善できるように安全対

策について考えている。継続的に道路整備を行っていきたいと考えている。

町) 申し訳ないが、一度質疑を区切って、アンケート結果について説明させていただきたい。その後質疑をいただきたい。

・幹線 16 号線整備事業・アンケート結果のまとめについて

配布資料をパワーポイントにてスクリーンを用い説明 (竹内技幹)

・質疑②

住民) アンケートの追加調査は行うという話だったがやらないのか? 追加調査して回収率を 80%くらいに引き上げるのはやってはいけない。回収率 46%という事実を認識してほしい。アンケート内の意見についてだが、拡幅工事を進めたいという“整備”なのか、ミラー等安全対策を行ってほしいという“整備”なのか、“整備”にも様々な意味がある。行政が気付かなかった整備案をもっと計画に取り入れて、活用して、真摯に検討してほしい。道をよりよくするために議論したい。また、インターネットで気になっていることがある。大磯町の中止にすべき政策に、地権者が同意していないと言う理由で幹線 16 号線整備事業が挙げられている。公的なメッセージで出しているから嘘という訳にはいかないだろう。どういうことか? 辻褄が合わないことが多すぎる。

町) 調査範囲を広げたという意味ではなく、期間を延長した中で多くの意見をとってきたい為にアンケート調査を行った。

住民) アンケート結果をもっと前向きに計画に練りこんでほしい。調査結果がもったいない。

町) インターネットについては確認させてほしい。大磯町のホームページで休止ではなく、中止となっていたか?

住民) 大磯町のホームページで中止となっていた。

住民) 中崎町長にもこの場に是非来ていただきたい。伝えてほしい。

住民) 高橋ストアーから城山公園へ抜けるマイクロバスにどのくらいの人数が乗っているか把握しているか? こんな無駄なことをするのではなく、国道 1 号線が渋滞していて困っている人のためにマイクロバスを活用しては如何か? 通勤帯や時間帯にマイクロバスを走らせれば、国道を走る乗用車が少なくなって渋滞が緩和されるのではないか? お母さん方も助かるのではないか?

町) もともとコミュニティバスは、富士見地区で採算が取れなくて神奈中バスが撤退するという話もあったため、通勤通学時間の交通手段をメインとして生まれた。1 日 1 本だけ、別の地区で昼間の空き時間に回している状態。見直しは毎年のように行っている。地域の中でどの方法が一番いいのか、町もオブサーバーとして参加しながら検討会を行っている。

住民) 乗用車が 16 号線を通り抜けようとして、我が家の前や●●さんの家の前で U ターンするのを、コミュニティバスを活用すれば解消できるのではないか? 道路を拡幅し

なくても渋滞は解消できるのではないか？山側の人たちはバスを使えないので車を使わざるをえない。山側にコミュニティバスを走らせれば、通勤通学に助かるし乗用車を使う人は減るだろう。

町) どういう交通手段が一番いいのか、西小磯の山側の道は通常のマイクロバスでは通れないのでタクシーのようなものを利用するのか、地区で検討している。

住民) JR の線路沿いは 5F 建てマンションを建てられる住居地域である。都市計画として、町がマンションを造れるというメリットがあるのではないか？道路の計画を立てているのは水面下でマンションを建てる前提なのでは？

町) 趣旨が少しずつれて、話が混乱してしまっている。マンションを建てる建てないは地権者の方の考えもあるのではないだろうか。課題整理させていただき、またこのような場を作らせていただきたい。

(20:35 質疑終了)

・ 閉会挨拶 (笹山課長)

以 上